SPA：NO.54

テーマ：シンボルを築く

SPA：NO.54/KE9/01

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖なる存在に抱かれています。

過去のレッスンでは、真剣な真理の探究者が求めることは何よりも、自分の気づきの真のレベルを認識することである、と説明しました。言い換えれば、現れの真のレベル、思考・行動の仕方としての真のレベルを求めることです。なぜなら、実際にそれが現在のパーソナリティーだからです。そして勿論、それを達成するためには、現在のパーソナリティーはたくさんの努力、現在のパーソナリティーとしての自分のセルフに関してたくさんのワークをする必要があります。しかしそのワークのために現在のパーソナリティーには素質的可能性のサイクルから助けが提供されています。そしてそれらの助けとは、四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッド、そして一面ピラミッドのシンボルです。それらのシンボルは、現在のパーソナリティーが築くべきものとして現在のパーソナリティーの部屋のなかにあります。そして部屋はその現れのレベルでの無知による制限を意味します。

そして現れの一般的レベルとは何でしょうか？現れの一般的レベルは潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスです。人間はセルフ、自分を潜在意識的に現しています。そうです、また本能的意識のセルフ・エピグノシスについても述べましたが、しかしそのステートのなかでは人間は成長するために自分自身について「意識的に」ワークをすることは不可能です。そのステートのなかで、ただ経験を経ることによって人間は前に述べた次のレベルに到達したのです。

今、部屋のなかで小さな四面ピラミッドについてワークしながら、気づきのレベルはゆっくりと徐々に上昇していくことでしょう。そしてこの上昇への動きは三つのピラミッド全てにおいてです。三つのピラミッドとは四面、三面、そして五面ピラミッドです。一面ピラミッドをマスターすることは他の三つをマスターすることを意味します。ワークは三つのピラミッド全てを同時に行うべきです。

前に述べたように、三面ピラミッドは無知の制限のなかにいる間の現在のパーソナリティーに提供された素質的可能性のサイクルを示しています。そこで提供された可能性とは、人間がそれらの制限から解放されることです。ですから三面ピラミッドは生それ自体から現在のパーソナリティーに与えられた素質的可能性のサイクルです。しかし、前に述べたように、三面ピラミッドはまた現れの他のステート、つまり神の絶対善、絶対英知、絶対パワーをも意味しますが、しかしいずれのステートにしろ、それらは素質的可能性のサイクルです。絶対存在の絶対的本質は現れには与えられません。同じ事はあなた方が部屋のなかに築く小さな三面ピラミッドについても言えます。そしてまた前にも述べましたが、あなた方は部屋のなかにピラミッドを築きますが、その背後には理想、それらのピラミッド、シンボルそれぞれのモデルがあります。そしてあなた方がすべき努力とは、あなた方が築くものを素質的可能性のサイクルによって与えられるモデルとマッチさせることです。

あなた方が三面ピラミッドのなかに立つ時、正面には一つの角があり、その右と左、あなたの右と左にはそれぞれサイドがあります。そして後ろにはあなたの肩と平行するサイドがあります。あなたの右側のサイドから来る輝きの色はホワイトピンクで、それはこのピラミッドをマスターする現在のパーソナリティーによって現される善のレベルを示します。左のサイドの色はホワイトブルー、水色で、それは現される意識のレベルです。背後のサイドはこのピラミッドをマスターした現在のパーソナリティーによって現される知識としての英知を意味します。

Page2

五面ピラミッドの全サイドからの色は今のところ皆同じです；将来、各サイドの輝きの色を与えますが、今のところは全サイド同じ色で行うたくさんのワークがあります。

五面ピラミッドの各サイドは五感のそれぞれの感覚を示します。どの感覚？私たちが知っている感覚でしょうか？違います。各サイドは実際私たちが超感覚と呼ぶ現在のパーソナリティーの真の感覚を示しています。今のところ、現在のパーソナリティーはピラミッドに関しては気づきのレベルとしてそれら全てのピラミッドの下部、ベースの所に立っています。ですから今のところ五つの感覚はベースのところにあります。ベースという時、それはサイドが床に触れるところ、各サイドの下部のラインを意味します。そして勿論、そこから上に上昇するべく努力が必要です。

一面ピラミッドは他のピラミッドのワークをした結果としてその人が達成したものを示します。それは意識の能力を示し、徐々にゆっくりとそれ自身を無知の領域から解放し、意識のより高い領域へと入っていきます。ですから一面ピラミッドはその人が他のピラミッドでのワークによって達成したものを意味します。

そして生について述べたことを覚えているなら、主な特質の一つは意識の拡大です。形の制限からそれ自身を解放します。一面ピラミッドは意識の拡大を示します。また多様性に関する偉大な能力に関しても述べましたが、それは現在のパーソナリティーが部屋のなかにいる間のことではありません。現在のパーソナリティーが大きな四面ピラミッドのなかに入るとそれが達成されるでしょう。大きな四面ピラミッドに入る？

それは何を意味するのでしょうか？すでに築かれていて、すでに存在する建築物のなかに入るのでしょうか？答えはノーです。あなた方は大きな四面ピラミッドをも築くのです。しかし、部屋のなかに築く他のピラミッドよりもっと意識的に築くのです。それらは全て（＊部屋の中で築くピラミッド）は現在のパーソナリティーが気づきの異なったレベルを達成する助けとなるでしょう。それぞれの気づきのレベルは、勿論前に述べたように、現在のパーソナリティーの異なったイニシエーションなのです。勿論、それに関しては将来もっと詳しくお話します。

様々なレベルにおいてどれほどのイニシエーションがあるか、大きな四面ピラミッドにはどれほどのイニシエーションがあるか、地中ではどれほどのイニシエーションがあるかについて述べました。そうです、地中です。今のところ現在のパーソナリティーは四面ピラミッドの下におり、現在のパーソナリティーはたくさんのワークをする必要があります。

さて現在のパーソナリティーはこのピラミッドをマスターすべきであると述べました；三面および五面ピラミッドをマスターすることによって。マスターするということは、現在のパーソナリティーが部屋の外にでる用意ができていることを意味します。それはどのようにして達成されるのでしょうか？なぜなら四面ピラミッドは部屋という制限のなかでは完全ではないからです。その高さは部屋の高さにマッチしていません。それは部屋の境界よりも高いのです。四面ピラミッドは完全な形になっていません。欠けているのは頂点です。そして頂点ができるということは、それは部屋の外にできることを意味します。そしてそれを完成させるのは、五面および三面ピラミッドをマスターした意識、そのような現在のパーソナリティーです。それは自動的に、現在のパーソナリティーは四面ピラミッドをマスターし、準備ができていることを示します。なぜなら、その人は部屋の外、四面ピラミッドの頂上に意識として（形としてではなく）立ち、その頂点を完成させる、ピラミッドを完成させるからです。そして次のステップは、次の素質的可能性のサイクルに入ることです。勿論、次のサイクルを完了するためには、現在のパーソナリティーは無数の蓋然的可能性のサイクルを経る必要があります。しかし、それに関しては将来詳しくお話ししましょう。今の所、部屋のなかで行う沢山のワークがあります。

Page3

この期間、私たちは部屋のなかで沢山のエクササイズ、特にエーテルの特質をマスターするためのエクササイズを行います。いいですか、前に述べたように、エーテルの特質を高度にマスターするレベルに達しなければ、それらの助け（＊ピラミッド）に関するワークをしても多くを達成することはできません。あなたがそれらに触れることができ、細かな部分まで見ることができるぐらいにまで、それらの助け（＊ピラミッド）を築く必要があります。しかし、そのためには過去に、そして初めに与えたエクササイズをたくさん行う必要があります。

視覚化（ビジュアライゼーション）は非常に重要です。イドロプラシーおよび視覚化のエクササイズは今とても重要です。そして探究者たちが行ったワークは十分ではないことを私たちは知っているので、それぞれのレッスンでワークを一緒にやっていくようにしましょう。ですから、多くのエクササイズを繰り返します…今のレベルに合うように少しアプローチを変えて。そうです、過去においてそれらのエクササイズは一般的な理解のレベルで、異なったレベルで与えられています。しかし、各レッスン、各エクササイズでの仕事は過去の仕事と同じです。

このレッスンの初めに話したように、次回のレッスンから…つまりセミナーが終わってから…この時期において与えられるべきものをスタートさせます。最近与えられたレッスンに関して何か質問があれば、お答えしましょう。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

質問：多くの人々は人によって異なった色を見ています。

Ｋ：そうです、多くの人は自分は他の人とは異なったものを見る、と主張します。彼らは輝きをミックスしています。

質問：彼らにはそれらを見るという能力がないのですか？

Ｋ：色を別々に見るということ。つまり同時に多くのポジションにフォーカスすること、同時に異なった色にフォーカスすることです。やってみてご覧なさい、もしあなたがフォーカスすれば、フォーカスする対象を広げて行くと、あなたは色をミックスさせてしまいます。ミックスさせることなしに同時に多くのポジションにフォーカスできる能力を育てる必要があります。ミックスすることなく、同時にそれぞれのポジションから受け取るのです。それは簡単なことではありませんが、ある程度まで達成可能なことです。なぜならそれは部屋にいる間の素質的可能性のサイクルに含まれているからです…少なくてもあるレベルまでは。誰でも気づかずにそれを行っています。なぜなら、前にも述べたように、部屋のなかというレベルに到達した人は誰でも思考を現し、記憶を現し、ファンタジー、幻想を現していますが、それは五つの超感覚の使用を通してです。

質問：関連しますが、あなたは瞑想のなかでウリエル、ガブリエル、ミカエルについてははっきり述べますが、特定の瞑想のなかで全部について述べる場合以外はラファエルについてはあまり言及していません。

Ｋ：必ずしも全ての瞑想で四つのアークエンジェルに同調するわけではありません。ウリエルは何であれ現在のパーソナリティーが達成したことを示しています。なぜなら、それはあなたの前にある鏡であり、ウリエルはピラミッドのあなたの正面にあるサイドを受け持っており、それは鏡であり、その鏡のなかのセルフは私たちが到達すべきセルフである、と前に述べました。ですからウリエルは最後のものです。ワークにおいてウリエルと直接にワークをすることはせず、まず他の三つと行い、その結果がウリエルが司るそのサイドに見られるのです。

質問：たぶん質問が明確でなかったかもしれませんが、あるいは私が自分の質問について明確でなかったかもしれませんが、これまで火、ミカエルとワークするエクササイズがあり、水のガブリエルのワークをするエクササイズがありましたが…

Ｋ：あなたの質問の意味がわかりました。それらのエレメントに関する特別なエクササイズについてですね。ラファエルは何を司っていますか？

質問：空気、エーテルです。

Ｋ：そうです。さてエーテルと言うとき、実際全てのエレメントにはエーテルがないでしょうか？エーテリック・バイタリティーとしてのエーテルとは何でしょうか？エーテリック・バイタリティーは私たちが空気あるいはマインドのエーテル・バイブレーションとして知っているエーテルよりもずっと高次のレベルのものです。しかしラファエルはマインドのバイブレーションとしてのエーテルだけを司っているのでしょうか？あるいはミカエル、ガブリエルはどうでしょうか？答えはノーです。彼らの権威はもっと高い所からスタートしています。過去に、現在のパーソナリティーにもっとも近いアークエンジェルはラファエルであると述べました。将来、あなた方は現在のパーソナリティーとして、ラファエルとの関係について認識するようになるでしょう。

質問：多くのエクササイズで私たちは自分を守るために五芒星を創造します。なぜなら、あなたはいつも守護のためにと言うからです。しかし、もし私たちにこの五芒星の守護がなかったら、非常に危険かもしれませんが、一体どのような獣がいるのですか？

Ｋ：獣とは何でしょうか？無知のなかにいる人間はたくさんの獣、つまり沢山の低いバイブレーションのエレメンタルを創造します。それらが獣、悪魔であり、否定的想念が悪魔なのです。神ではなく人間が創造した無数の獣がいます。そしてもし私たちが過去よりも高いレベルに到達すると、それはつまり私たちが過去に創造したものと遭遇するとき、それは現在に、今立っている私たちに害を与えます。わかりますか？もし私たちがそれらのエレメンタルと対面する準備ができていないと、私たちはその結果を被ることになります。それゆえにドアーを開く前に小さな四面ピラミッドをマスターする必要があるのです。それは部屋を去る準備ができたことを意味します。そして私たちは恐れることなくそれら多くのエレメンタルと出会うことができるようになります。それらは私たちに影響を与えることができません。なぜなら私たちはこの素質的可能性のサイクルをマスターしたからです。

質問：その時には、私たちがマスターになると、もはや五芒星は必要ないのでしょうか？

Ｋ：何のマスターですか？ある程度のレベルということです。それは人間が無知から完全に自由になるということではありません。その先にはまだ長い道のりがあります；本当のワーク、もっとも真剣なワークはその時からスタートします。なぜなら、その時人間は何に価値を置き、何に価値を置くべきでないかをはっきりと認識できるからです。人間はヘラクレスとしてのセルフを現すことができるようになります。しかし、そのプロセスは本当にハードです。それは自動的に始まり、終わるというものではありません。

そのサイクルのなかでパーソナリティーは無数の蓋然的可能性のサイクルを創造し、経ることになります。どれぐらいの転生を重ねますか？誰にもわかりません、それは個人次第です、どのぐらい真剣にワークをするかです。残念なことに、多くの人々は自分の理解度に従ってヘブンを低めています。そかしそれはそう簡単なことではありません。人間がなんであれその本質を現すためには多くのワークが求められます。確かに、絶対英知は誰のなかにもありますが、その英知が現れるためには、一生懸命にワークをし、多くの転生を経る必要があります。一回転生してテオーシスに到達するといったものではありません。私たちは神のアウタルキーの偉大さを過小評価しています。そのような意味で私は、人間はヘブン、理解を低めている、と述べたのです。

私たちは全員が同じです。誰かは他の人より少し早くスタートしたかどうか、そう言ったことは全く重要ではありません。今私たちが経ていること、それは単なる意味に過ぎません；そしてそられの意味を永遠と比べたらそれは無に等しいものです。私が永遠と言うとき、それは永遠の今のことです。それは無です。ですから、決して誰かをあなたより高いと見たり、あるいは自分自身を低いと見るようなことは決してしないでください。私たちは同じであり、同じ源から来たのです。私たちは海の一滴です；人間はそのことを認識する必要があります。その時初めてこの地球上に平和が訪れるでしょう。私たち各人は同じ海の一滴の水であることを認識したなら。

Page5

質問：あなたが私たちに提供しているシステム、つまり部屋の中でのワーク、地上にあるピラミッド、部屋からの旅、潜在意識から意識的意識のセルフ・エピグノシスの旅、そこで創る大きなピラミッド、そしてエゴの側面を殺すヘラクレスの仕事。しかし、他のシステムではそれらのことを述べていません。ですから、他の人々は他の道を通ってすでに部屋から地上へと出ているのかどうか、と考えるのですが。しかし、そこにはアンバランスあるいは何かがあるのでしょうか…。

Ｋ：私たちが提供していることだけに注意を向けるようにしましょう。他をジャッジ、批判したり、どれだけ他のシステムが達成できるか、などということで私に批判させないでください。私に言える唯一のことは、もし他のグループがそれら全てを実践することによって気づきのレベルに到達できるなら、彼らはまたヤコブの梯子についても話すべきであり、またアークエンジェル的状態についても話すべきです。彼らはそれを行っているでしょうか？また彼らは自分たちが創造界における全てについて、経験に基づいた知識をもっているなどと言うべきではありません。また自分たちが神からダイレクトに来たなどと言うべきではありません。私はジャッジしたくありません；私が判断すべきことは何であれここで与えられることです。これら全て、私が今言ったことは、あなた方に考えてもらうためです。また私は多くのレッスン、多くのミーティングで、絶えず進化成長があるので私たちは決して後ろを振り向くべきではない、と述べました。何であれ過去に人々に与えられたものは、当時の人々の気づきのレベルを助けるためであり、現在の人々を助けるためのものではありません。確かに今でもそれらによって助けられる人々がいるかもしれませんが、しかしだからといってこの地上における全ての人々が同じ回数だけ転生しているというわけではありません；いずれにしても、人々は過去のものを与えられるべきではありません。過去のものは過去において、今のものは今重要なのです。今、究極的な助けとして与えられるものも、未来においては究極的な助けではなくなります。もっとそれ以上のものが必要となるでしょう。そのようであるべきです。

ですから、総体として言えることは、真摯なシステムであると見なされている今使用されているシステムについても、彼らはそれによって上昇しようと試みても、実際にはそれは下向きなのです。彼らは今でも逆向きの道に入っており、勿論その道に従っても彼らはヤコブの梯子には全く到達しないでしょう。

質問：それでは彼らは間違ってどこに行くのですか？

Ｋ：間違って何処に行く？方向ですか？

質問：しかし、ほとんどのグループでは、究極は絶対愛に到達することであると言っています。

Ｋ：そうです、絶対的にそうあるべきです。

質問：ですから、大部分は気づきの上昇に向けてワークし、より良いセルフを現すためにワークしています。彼らのどこが間違っているのですか？

Ｋ：彼らは気づきの上昇に向けて適切にワークしていません。上向きであると見なしていても、無知にある間は実際には下向きであるのを彼らは認識していません。彼らは自分たちのイメージによってワークしているのです。そしてそのイメージは下向きなのです。試してみてください、そうすればそれが逆向きであることがわかるでしょう。イメージを抱いてみてください、するとそれが下向きであることがわかるでしょう。ですから、それを現そうとすることは非常に危険なのです。そして今存在している大部分のシステムはパワーと能力を現すためのものです。ヒーラーになりたいと言って来る人々がたくさんいます。そして彼らは自分たちをヒーラーであると自称しています。なぜなら、特定のコースを一年、二年受けて、自分たちをヒーラーであると称しています。椅子に座って何年も勉強しただけで生の特質を現すことができるようになるでしょうか？それがより良いセルフ、生の特質からより多くを現すための方法でしょうか？そんなに簡単なものでしょうか？そう簡単ではありません。

Page6

質問：願望を抱くとき、私たちは欲望的想念(desire thought)について話します。霊的ヒーラーは信仰・信念によるヒーラーとは異なるという理解を抱く時などでも。たとえ同胞の人間を助けるという願望であっても、そのような願望を抱く人々の動機ですが。

Ｋ：はい、それは受け入れられます。

質問：それでは動機は正しいのですね、信仰ヒーリングと霊的ヒーリングの間には違いがあると理解する探求者にとっても、他人を助けるという願望からスタートします。そして、自分がワークする物差しをもう少し進んでいきます。しかし、彼らはそれを理解しないかもしれません。

Ｋ：違いは、あなたが述べたように、彼らには助けたいという願望があります。自動的にそれは願望です。「私はそれをしたい」という願望を現します。しかしその願望の背後には何があるでしょうか？それは自分のエゴでしょうか？そこには何があるでしょうか？なぜなら、願望の背後には動機があるはずだからです。さもないといかなる願望も出ないでしょう。そして通常その動機はエゴです。いいですか、私はエゴからのこの突き上げを過小評価することはありません。なぜなら、もしそれがなければ私たちは啓発に向けて進むことはなく、進化・成長はあり得ないからです。ですから、エゴにもその役割があります。ですから、私が説明していたのは、適正な方法ではなく不適正な仕方でパワーと能力を現そうとするシステムが今でもあるという事実です。原子をも調和のなかに維持するあらゆるパワーを利用しようとするのと同じように。

その法則を利用してパワーを得ることはできますが、それは適切な方法でしょうか？そのようなパワーを現すためにアンバランスを生み出すことが必要でしょうか？答えはノーです。人間には一つの原子が外に現すことのできるパワーさえもありません；しかし、生としての人間には諸宇宙の全ての原子が有しているパワーがあります。ですから、あなたはパワー、能力を現すことができ、あなたに従う人々を魅了するために現象を行うこともできます。そしてあなたのエゴを刺激することもできます。なぜなら、彼らは簡単にあなたにフォーカスするからです。

魔術、魔術のテクニックです。あなたは椅子に座って、それら全てを行う方法を教えられるかもしれません。いいですか、過去の大部分のスクール、グループでは、そして現代でも多くのグループでそのようなことを行っています。彼らは練習し、このセル、この生命の木においてパワーのセンターを刺激したいのです、何かを達成するために。しかし、それは私たちが求めていることではありません。私たちのするべきこと、それは何であれ真の本質からのものを現すことです。私たちはパワー・能力にフォーカスしません。なぜなら私たちの真の本質は魔術によって現すことのできるあらゆるパワーよりも遙かに偉大だからです。それは生の魔術とも言えます。私たちが受け入れるのはそれです。

このことについては過去に何回も述べてきました。もし誰かがパワーを求めるなら、それは現象を行うこと、エゴを刺激すること、他人を魅惑すること、他人を引きつけることを意味します；それは探求する人にとって正しい場所ではありません。私たちは他の同胞の人間の益になるようなセルフを現す人々を助けるためにのみここに来ています。主の愛の道具となるようなセルフです。無条件の愛、真の愛を現すこと、人々が何を現していようとも、肌の色が何であろうとも、あらゆる同胞の人間を抱きしめることのできるセルフ。エレブナはそれを目的としています。それはスローなプロセスです。しかし、私たちの理解によれば、私の理解するところによれば、いいですか、それはもっとも速く、もっとも安全な道なのです。私は他をジャッジしません、私は何であれここに提議されたことを判断しているだけです。

恐らく、彼らも同じものを求めているのかもしれません、あるいは正しい道を見いだす準備ができていないのかもしれません。彼らは経験を経る必要があるのかもしれません、現象をもたらすかもしれないが苦痛を与えるような経験を。しかしそれもまた彼らにとって益となるのです。なぜなら、何であれ人間に生じることはその人にとってベストなことだからです。

そして多くのレッスンで述べたように、主から人間の可能性として与えられたものについて、私たちは誰をジャッジするというのでしょうか？なぜなら、何であれ人間が現すもの、それは人間のイデアによる素質的可能性のサイクルによって提供された可能性の結果だからです。さもなければ、人間は無知のなかに入ることができず、何であれ悪と見なされるものを行うことはできなかったでしょう。なぜなら悪もまた可能性のなかにあるからです。私たちは誰をジャッジするというのでしょうか？あらゆるものには目的があります。

EREVNA/SPA54/KE9/01